

姫路で見る 2023年10月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 10/6 下弦 
- 10/15 新月 
- 10/22 上弦 
- 10/29 満月 



10月15日 21時の空
※月は書いていません

秋の夜空をふたつの惑星がにぎやかにしてくれています。南の空には土星、東の空にはひととき明るい木星が輝いています。土星はこの秋が観望の絶好機ですから、望遠鏡を持っている人はぜひ土星に向けてみてくださいね。

「夏の三大角」が西の空に傾いています。12月頃まで観察できますから、まだしばらくは夜空で出会うことができます。一方、南の空の高い所にはペガスス座のシンボルとなる「秋の四辺形」が見えています。そんなに明るい星たちではありませんが、秋の星座は暗い星が多いので意外と見つけやすい星の並びです。秋の四辺形の西側の線を下に伸ばすと、空低くにみなみのうお座の1等星フォーマルハウトが見つかります。更に、秋の四辺形の北側に目を向けるとWの星の並びのカシオペヤ座も見つかります。カシオペヤ座を見つけたら、北極星も探してみてください。明るい星を持つ冬の星座も見え始めました。東の空の低い所には、おうし座の1等星アルデバラン、北東の空にはぎよしゃ座の1等星カペラも輝いています。これから見頃となる冬の星座の星たちにも注目してみてください。